

令和5年度事業計画

令和5年度事業方針

I、振り返り

令和4年度も長引くコロナ禍の中、「魅力的な福祉のまち・北方町の創生」に向け地域福祉の推進や円苑における福祉サービスの向上に注力した1年でした。

行動制限が解除され、計画した全ての行事を実行することができました。コロナ禍にありながら、社協の事業に足を運び又サービスを利用していただける方々の増加を実感しています。「みんなのお家」や久しぶりに開催した福祉フェスティバルや福祉講演会はその最たるものでした。

重点目標であった「みんなのお家」の継続的推進については、子ども食堂やカフェなどに、ラジオ体操や地域住民による自主活動を加え多世代交流の拠点として毎月の参加者が延360名を超えるまでに盛り上がりを見せています。

昨年度に引き続いての日常生活における「なんでも相談事業」の拡充については、名前の通り生活資金の借入相談、生活困窮や家族間の問題さらには障がい者からの相談など多岐にわたり社会の根深さを痛感しています。「生活困窮者へのアウトリーチ型支援」については、十分な体制に至っておらず道半ばにあります。

II、事業方針

1、基本方針

これからはアフターコロナを見据え、誰もが輝く地域共生社会の着実な前進に向け住民に寄り添った活動を推進して行きます。また事業の拡充やSNSなどを通し知名度や認知度の向上、集約した円苑におけるサービス事業の拡充に邁進する所存です。デイサービス事業においては利用者の減少により厳しい経営環境にあり、地域密着型通所介護への移行や特色あるサービスの導入を積極的に進めて行きます。

円苑の事業所においては、働き易さや介護職の人材不足から職員の高齢化が進んでいるのも事実です。その経験やスキルを売りにすると共に、未来を見据えた働き方改革や次の時代を担う人材の育成は待ったなしです。

課題は多いですが、腰を据えて一つひとつ志を持って着実に実行して行きます。

2、重点目標

今年度も魅力的なまちづくりに向け、次の3点を重点に捉え実行して行きます。

- (1) 日常生活における「なんでも相談事業」の対応促進
- (2) ボランティアの育成と活動ステージの拡充
- (3) 次世代を担う人材の育成

3、事業内容

今年度の事業内容は、別紙「令和5年度事業内容」の通りです。

以上

令和5年度事業内容

1、法人運営事業

- ①法人の運営管理に関する全般事項
- ②知名度や認知度向上に向けた広報活動（社協だより、SNS、ポップ広告等）
- ③ホームページの効果的運用による発信力の強化
- ④未来に向けたSDGsの取組の推進
- ⑤会員募集と募金活動

2、福祉推進事業

（1）地域福祉推進事業

- ①「みんなのお家」の運営と新たな活動の推進
- ②高齢者向け配食サービス
- ③福祉講演会の開催
- ④男性料理教室の開催
- ⑤各種講座の開催（ボランティア・サポーター養成講座、学生向け福祉講座等）
- ⑥家族健康農園の貸出し
- ⑦生活困窮者向け食料支援
- ⑧各種ボランティア・サポーターの支援
- ⑨福祉標語・イラストの募集
- ⑩各種団体への助成（福祉団体、サロン活動団体等）

（2）ふれあい交流事業

- ①福祉フェスティバルの開催
- ②福祉運動会の開催後援
- ③ふれあい交流会の開催（夏祭り、みんなでラジオ体操、子育て世代向イベント等）

（3）なんでも相談事業

- ①日常生活相談・支援（生活困窮、相続、後見、法律相談、就労等）
- ②障がい者基幹相談支援センターの運営
- ③生活福祉資金等の貸付相談
- ④日常生活自立支援事業 など

3、サービス事業

（1）障がい福祉サービス

- ①障がい福祉サービス事業所もちの木
- ②相談支援センターもちの木

（2）介護保険サービス

- ①ケアプランセンター（認知症カフェの開催）
- ②デイサービス（要支援者向けミニデイの運営）
- ③ホームヘルパー（要支援者向け生活支援サービスの提供）